



2025  
PRIMÓ  
RING  
PROJECT

CSR  
REPORT

PRIMO GLOBAL HOLDINGS

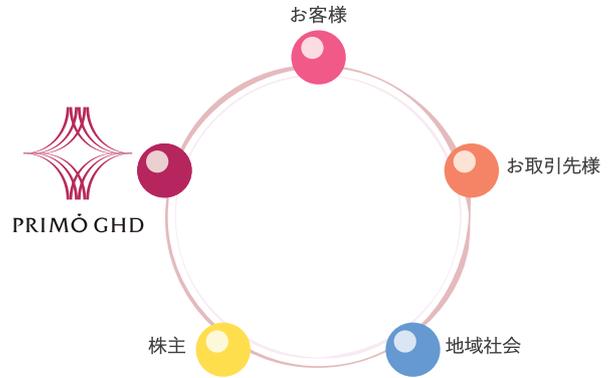
# 目次

活動理念 .....	03
2025年CSRレポート発行に寄せて・2025年プロジェクトメンバーより .....	04
<b>1.お客様の想いに寄り添う</b> .....	<b>05</b>
りんぷろ図書	
LGBTQ+ 講義開催	
LGBTQ+イベントへの協賛	
クローバーについての取り組み	
<b>2.信頼される商品を届ける</b> .....	<b>06</b>
指輪のメンテナンス方法の動画をご提供	
<b>3.よりよい職場環境を育む</b> .....	<b>06</b>
多文化理解を通じたグローバルホスピタリティの向上	
ピンクリボン運動	
PRIDE指標 2025およびD&I AWARD 2025の受賞	
安全・安心な店舗運営に向けた防災対策の強化	
<b>4.地域や環境を守り次世代へつなぐ</b> .....	<b>08</b>
自立と夢を応援するジョブプラクティス	
職場体験(京都・函館)	
全店清掃活動	
富士山森林保全活動	
淀川環境保全・循環型体験プログラム	
不用品の寄付活動	

# 活動理念

多くの人々の幸せを創りたいという思いから。

「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」  
この企業理念に基づき、一人でも多くの人々の夢を叶え、幸せを形にしたいという思いから、当社のCSR活動“PRIMO RING PROJECT”が始まりました。プロジェクトに参加するメンバー一人一人が自発性と熱意を持ち、4つの活動方針と近年ではSDGsの理念に基づき、様々な活動を行っております。一人一人の力が重なり合い、笑顔の輪(=RING)が社員、株主の皆様、地域の皆様、お取引先様、そしてお客様へと広がっています。



## PRIMO RING PROJECTの活動意義

プリモ おもい プリモ かたち  
**最高の夢を最高の幸に**

発展

連鎖

幸せのリングを「つなげる」「広げる」ことで  
「あらゆるものに、愛され信頼される存在に」

信頼

4つの  
活動方針



お客様の  
想いに  
寄り添う



信頼される  
商品を届ける



よりよい  
職場環境を  
育む



地域や  
環境を守り  
次世代へ  
つなぐ

SDGs目標  
該当項目



# 2025年CSRレポート発行に寄せて

## 2025年のPRIMO RING PROJECTを振り返って

当社は創業以来、「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」を企業理念とし、ブライダルジュエリーの企画・販売を続けてまいりました。人生で最も幸せな瞬間を控えて当社の店舗にご来店されるお客様はもちろんのこと、当社の活動を支えてくださるお取引先様、店舗周辺の地域の皆様、株主の皆様、そして日々業務に邁進する従業員とその家族など、すべてのステークホルダーの「夢(おもい)を幸(かたち)にしたい」という考えのもと、2007年10月に収益の一部を寄付することから始まった活動は、笑顔の輪が広がることをイメージして「PRIMO RING PROJECT」と名付けられ、2026年には20年目を迎えます。

2025年度は、環境保全活動の新たな一歩として、初めて淀川での環境保全活動を実施しました。社員が淀川で清掃活動を行い、マイクロプラスチック問題について学ぶ機会を設けることで、環境課題への理解を深めました。また、継続的に実施している富士山の森林保全活動も行い、地域環境との共生の重要性を再認識しました。

また、企業として、社員一人一人の多様性を尊重し、それぞれの強みを活かして補い合い、互いに磨き合える職場環境づくりに取り組んでまいりました。また、これまで、そしてこれから関わってくださるすべての皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、発足当時と変わらぬ笑顔を大切にしながら、活動を継続してまいります。

継続的に実施することで、短期的な成果に留まらず社会や環境との調和を深めながら企業としての信頼性と持続可能な成長を実現してまいります。

今後ともPRIMO RING PROJECTの活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

澤野直樹

## 2025年 プロジェクト メンバーより

①活動を通してご自身にどんな変化や学びがありましたか？

②今後、どんな社会課題に取り組んでほしい(取り組んでいきたい)と思いますか？

アイプリモ川越店

安東 美桜



①新しいメンバーとともに過ごしたこの1年は、例年課題となっている社内活動の発信力を少し改善できた年でした。『どうすれば興味を持ってもらえるか』という視点で、新メンバーの発信力を間近で学ぶ機会があり、自分にはなかった考え方や視点を吸収できたことが、この一年の大きな成果であり、充実感につながりました。

②本格的に取り組み始めた防災対策に、今後さらに力を注いでいきたいと考えています。また、当社ならではの強みを活かした活動を模索し、さらなる展開を目指していきます。

アイプリモ近鉄四日市店

楯 りか



①クローバーやLGBTQ+、国際理解などダイバーシティに関わるテーマに取り組んだことで、より広い視野と多様な価値観を身につけることができました。

②昨今の社会では、日々膨大な情報が溢れていると感じています。その中で、社員一人一人が高い情報リテラシーを身につけ、安心して働けるような発信をしていくことが重要だと考えました。具体的には、商品の知識をさらに深める取り組みや、ダイバーシティに関する正しい理解を促す活動など、自分ごととして捉えて考えてもらえるような施策を進めていきたいと思っています。

アイプリモ高崎店

田村 友一



①新しい挑戦を求め、迷わず応募したこと自体が大きな変化でした。ゼロから企画を考え、実行する難しさに直面しながらも、仲間や事務局の支えでかたちにすることができました。個人の力の限界と、チームで動くこと、人こそが財産である大切さを強く実感した一年でした。

②今後は、海のゴミ拾い清掃とジョブブラクティスを掛け合わせた活動に挑戦してみたいです。清掃を通じて海の課題を伝え、回収したプラスチックをアップサイクルし、子どもたちへ届ける。海も魚も子どもも笑顔になる、幸せをつなぐRING PROJECTを思い描いています。

アイプリモ和歌山MIO店

西 このえ



①今回初めてRING PROJECTに携わせていただきました。案件を進める中で、自身の知識や経験の不足、また実現することの難しさを痛感する一方、様々な視点を学ぶ貴重な機会となりました。店舗では得ることができない学びが多く、参加できたことを大変有意義に感じています。

②天然ダイヤモンドや貴金属を扱う企業だからこそ、環境保全への取り組みは非常に重要であると感じています。今回、富士山や淀川での環境保全活動に参加したことで、環境問題を自分ごととして捉える大きなきっかけになりました。今後も継続して環境保全に向けた活動を進めてほしいと思います。

アイプリモ梅田ハービスENT店

藤本 恵



①本社の皆様の想いや業務の背景、できること・できないことを理解できるのは、りんぶろの大きな価値であり、最大の学びだと感じています。この経験を通じて、1年目より視野が広がり、物事を俯瞰的に捉えられるようになりました。

②自己案件を通じて環境問題について深く調査する機会があり、その影響で、これまで当たり前に行っていた全店清掃や不用品回収といった活動を、より意義あるものとして捉えられるようになりました。今後は自ら積極的に環境保全活動に参加し、その意識を社内全体に広げていきたいと考えています。

# 1

## お客様の想いに寄り添う

「人生で最も幸せなお買い物」のお手伝い…その喜びと誇り、そして大きな責任感を胸に、一人でも多くのお客様にご満足いただけるよう、日々研鑽を重ねています。

### りんぷろ図書

私たちはこれまでメンバーの中でLGBTQ+に関する書籍の回覧を行ってきました。この活動はりんぷろメンバーの視野を広げ、統一した考え方を育むとともに、多様なお客様に対応できる知識を身につけることが目的です。2025年度は、例年回覧していたLGBTQ+を学ぶ書籍に加え、聴覚障がいへの理解を深めるための書籍を新たに導入しメンバー全員が読了しました。また、今回はメンバーのいない店舗にもLGBTQ+に関する書籍の貸出を行い、メンバー以外の店舗を巻き込んだ取り組みへと広がりました。



### LGBTQ+ 講義開催

当社では3回目のLGBTQ+講義を開催しました。講師には前回に引き続き、手塚弥生氏を迎え講演いただきました。主に接客において活かせる考え方や言葉の選び方について学びました。スタッフの関心も高く、会社全体で積極的に取り組む機会となりました。講義では、LGBTQ+に限らず、自分と他者の共通点や違うところを考えるとという視点も取り上げられ、新鮮で気づきのある機会でした。手塚氏がオープンに質問を受け付けてくださるので質問しやすく、私たちの疑問を解消するだけでなく、お祝いの場として自信を持って対応するきっかけとなりました。さらに、全社員対象に学びたいタイミングで活用できるよう、講義動画を社内で視聴公開し活用しています。今後も、お客様に寄り添える接客を目指し、この取り組みを続けていきます。



### LGBTQ+ イベントへの協賛

今回初めて「名古屋レインボープライド」へ協賛いたしました。名古屋レインボープライドは、LGBTQ+を軸に、一人一人の多様性を可視化し、権利や尊厳を求めるイベントを2012年から開催しています。2025年のテーマ「社会が変われば、周りが変わる」を受け、当社では広告協賛をしました。当日の会場来場者は5万人、パレード参加者は1200人を超え大変な盛り上がりで、大イベントへ協賛できたことを誇りに思います。また、Tokyo Pride(旧東京レインボープライド)への協賛は2021年から継続しており、今後もより多くのお客様の「夢(おもい)」を「幸(かたち)」にするお手伝いができるよう邁進してまいります。



### クローバーについての取り組み

聴覚障がいがあるお客様がご来店された際、「お受け取り時の説明内容」および「アフターメンテナンスのご説明」を手差しで分かりやすくお伝えできる可視化資料を最新情報へ更新しました。接客時に円滑に提示できるよう、資料を接客用iPadへ保存する運用も周知しました。

また、過去に開催した手話講座の動画をブラッシュアップし、お客様にも快く「ここにしておよかった！」と自然に感じていただける接客を目指し、プリモの想いを沢山の方へ届けられるよう取り組みを進めています。

# 2

## 信頼される商品を届ける

当社では、熟練のクラフトマンや、品質や産地に精通したダイヤモンドバイヤーが、おふたりの「一生の記念となるリング」をかたちにします。

### 指輪のメンテナンス方法の動画をご提供

「ダイヤモンドの輝きに自信はありますか？」という問いに、私たちは常に「はい！もちろんです」と即答できる品質と誇りを持っています。しかし、日常生活に潜む「油」は、どれほど美しいダイヤモンドでも輝きを損なう要因となります。お客様に店舗での感動体験を長く維持していただくため、正しいメンテナンス方法を会員ページの動画でいつでもどこでも確認できるようにしました。これにより、大切な指輪を安心してケアでき、美しさを長く保つことが可能になります。また、この知識は多くの方に役立つ内容であり、周囲へ共有いただくことで「着ける喜び」の輪が広がり、婚約指輪を贈る文化の継承にもつながると考えています。とても小さなことですが、アプリモが起点となっ

て、未来へ続く豊かな社会づくりに貢献してまいります。



# 3

## よりよい職場環境を育む

お客様に最高のホスピタリティをご提供できるのは、快適な職場環境があつてこそ。「ライフワークバランス」や「ダイバーシティ」の重要性が高まるなか、社員一人一人がイキイキと、長く働ける環境を整えています。

### 多文化理解を通じたグローバルホスピタリティの向上

ダイバーシティとは、年齢・性別・国籍・人種・性的指向・障がいの有無など、多様な背景を持つ人々が共に存在し、その違いを認め合うことを指します。2007年に台湾へ進出して以来、当社が展開する5拠点・133店舗(26年2月末時点)は同じ企業理念のもと、さらなる発展を目指してきました。国や地域を超えて事業を広げる中で、各拠点で大切にされている結婚文化を知ることは非常に意義があると考え、本企画を実施しました。現地文化に詳しい5名に結婚の伝統や特徴を伺うことで、日本とは異なる価値観やスケールの大きさに触れ、多くの学びが得られました。「幸せのリングをつなげる。広げる」という想いのも

と、相手を知り、理解し、認める姿勢こそが私たちの強さです。



## ピンクリボン運動

毎年10月は「ピンクリボン月間」、そして10月1日は「ピンクリボンデー」に定められています。2025年も前年に引き続き、日本をはじめ、中国本土、台湾、香港、シンガポールの各店舗が協力し、プリモグローバルホールディングス全体でオリジナルリボンバッジの着用を実施しました。

乳がんは女性に限らず、誰もが向き合う可能性のある病気です。当社ではその認知を広く伝えるとともに、今後も各拠点と連携しながら、健康に関する啓発活動を続けてまいります。



## PRIDE指標 2025およびD&I AWARD 2025の受賞

プリモ・ジャパンでは、ダイバーシティ経営の一環として社内のLGBTQ+に関する取り組みを進め、LGBTQ+ガイドラインの更新や、全社員へのLGBTQ+研修の導入、配偶者の定義変更、制度利用時のエビデンス排除などを行うことで、LGBTQ+への理解を深め、差別や偏見のない職場環境を作ってきました。その取り組みを基に、前年に引き続き2025年も「PRIDE指標 2025」と「D&I AWARD 2025」の2つにエントリーしました。企業のLGBTQ+への取り組みを評価する「PRIDE指標」では、2020年11月「PRIDE指標 2020」でシルバーを受賞した後、2021年は最高位であるゴールドを受賞することができ、2025年も5年連続でゴールドを受賞することができました。また今回で5度目のエントリーとなった、全国企業のダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを認定・表彰する「D&I AWARD 2025」では5年連続で「ADVANCE = 日本社会をリードする先進的な取り組みをしている」を受賞しました。今後も継続的に“性別にとらわれない幸せの形”を社外だけでなく社内にも浸透させることで、すべてのお客様そして社員の多様性を尊重した環境整備を進めてまいります。



## 安全・安心な店舗運営に向けた防災対策の強化

全国に店舗を展開する企業として、社員とお客様の安全を最優先に考え、当社はこれまでも防災対策の強化に取り組んできました。2025年はその一環として防災マニュアルのアップデートを実施するとともに、「りんぶろ通信」を通じて社員への啓もう活動を行いました。

災害発生時の初動対応や避難手順、役割分担などを理解し、状況に応じて落ち着いて行動できる体制づくりを進め、安全で安心な店舗運営を目指し、継続的に防災意識の向上に努めてまいります。

# 4

## 地域や環境を守り次世代へつなぐ

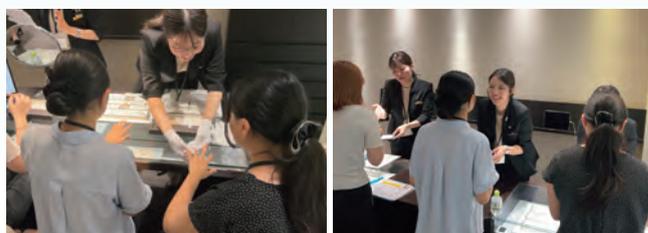
日本全国でブライダルジュエリー専門店を運営する当社は、笑顔の輪を地域全体に広げ、幸せが広がる街づくりに貢献します。また、豊かで美しい環境を未来世代へつなげていくための環境保全活動にも取り組んでいます。

### 自立と夢を応援するジョブプラクティス

「ジョブプラクティス」は、児童養護施設や里親家庭で生活する中高生を対象とした自立支援プログラムで、当社は認定NPO法人ブリッジフォースマイル様とともに2010年より継続して取り組んでいます。2025年は8月20日に実施し、高校生2名と中学生1名が参加。仕事内容の紹介、マナー講座、指輪選び体験などを通じて、自立に向けた学びの機会を提供しました。

中でも指輪選び体験は大変好評で、参加者が自分の好みを見つけ、明るい笑顔を見せる場面が多く見られました。また、当社の行動指針である「5values」についても具体例や対義語を交えて紹介し、今後の判断軸となる視点をお伝えしました。

短い時間ではありましたが、参加者にとって新しい発見や自信につながる機会となりました。当社は今後も継続して支援活動に取り組み、若い世代の自立を応援してまいります。



### 職場体験（京都・函館）

当社では、2014年より各拠点において中学生を対象とした職場体験学習を継続的に実施しています。2025年もアイプリモ京都店や函館店と複数の店舗で受け入れを行い、生徒の皆さんに社会人としての基礎的なビジネスマナーの習得や、ブライダル業界に関する理解を深めるプログラムを提供しました。

体験では、実際の接客をイメージしたブライダルジュエリーのご案内なども行い、仕事に触れる中で「仕事の大変さとやりがいを知ることができた」「ダイヤモンドが本当に綺麗だった」などの感想が寄せられ

ました。生徒にとって、将来を考える上での貴重な学びの機会となりました。



### 全店清掃活動

当社では今年も期間を定めて、全店舗で清掃活動を実施しました。店舗周辺のごみ拾いを一斉に行い、地域の皆様がより快適に利用できる環境づくりに取り組みました。日頃からお世話になっている地域への感謝をかたちとして表す貴重な機会となり、社員一人一人が環境美化への意識をさらに高める時間となりました。

今後もこの取り組みを活かし、より広い範囲での環境美化活動に積極的に取り組んでまいります。



## 富士山森林保全活動

当社では、CSR活動の一環として富士山の森林保全活動に取り組んでいます。認定NPO法人「富士山クラブ」様と協力し、自然環境を守るための森の遊歩道づくりを実施しました。活動では、チームごとに大きな丸太を運び、杭を打ち込んで道を整備するなどの力作業に取り組みました。試行錯誤しながら作り上げた遊歩道はチームごとに表情が異なり、今後自然と馴染んでいく姿を想像すると、環境保全への貢献を実感できる取り組みとなりました。



## 淀川環境保全・循環型体験プログラム

今回の大規模清掃活動は、大阪・淀川周辺を対象に、NPO法人「大阪海さくら」様のご協力のもと、近畿大学の学生の皆様と合同で実施しました。活動の中でも特に印象的だったのは「面白ゴミ大会」です。日常では目にしないユニークなごみが次々と見つかり、現場は笑いに包まれるなど、楽しみながら環境について考えるきっかけとなりました。午後からは、プラスチック製造を手がける「サナダ精工」様にもご参加いただき、製造の立場から見た環境課題や、私たちにできる取り組みについて学びました。また、アップサイクル体験では、身近な廃棄物が

キーホルダーやエコバッグとして新たな価値を持って生まれ変わる様子に多くの参加者が興味を寄せ、環境保全の重要性を改めて実感する機会となりました。

この活動を通じ、環境への貢献はもちろん、他団体との交流も深まり、大変有意義な時間となりました。今後は、より多くの仲間とともにこの取り組みをさらに広げてまいります。



## 不用品の寄付活動

当社では、衣替えの時期に合わせて年2回の不用品回収活動を継続しており、本取り組みは2018年の開始から8年目を迎えました。今回は春に71箱、秋に74箱の衣類やファッション雑貨、ぬいぐるみなどが集まり、「いいことシップ-ECO to SHIP-」へ寄付しました。回収された品物は再利用されることで環境負荷の軽減につながるほか、雇用の創

出や発展途上国への支援にも役立てられています。また、1箱につき100円が寄付先へ寄付され、災害支援などに活用されます。継続的な取り組みの中で、RING PROJECTメンバー以外のスタッフも積極的に参加しており、今後も全社的な社会貢献活動として継続してまいります。



**PRIMÒ GLOBAL HOLDINGS**

<https://www.primoghd.co.jp/>